ひのたま ULTLAプログラム

Uniqueness **L**iberation **T**hrough **L**earning optimization and **A**ssessment

学習の最適化とアセスメントで子供一人一人のユニークな学びを花開かせたい

あそびのプログラム2026：「未知と道」

ひのたま
ULTLA
プログラム

あそんで
まなんで
へ――んしん

見える世界が変われば
いつのまにか変身しているかも
きっかけは君の中に！

スクロール

ULTLAへ登録(準備中)　ログイン(準備中)



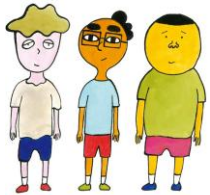
1日目　多摩市

日程：2026年7月12日（日）　場所：国士舘大学会議室、加藤家　時間：10:00-16:00

10:00-10:30　君もULTLA　ー自分学入門ー

ウルトラ人：木村さん（多摩市公民館職員）＠国士舘大学会議室

自分の姿は自分では見えないから、自分を知る機会は実は少ない。自分の特徴を色んな角度から写す鏡があれば、自分のことをもう少し理解できるかもしれない。そんな鏡を手に入れて、自分が生き生きと生きられる場所、人、ものごとが何かを探す旅をはじめるのがULTLAプログラム！



10:30-12:00　言葉のみち、千年前の景色を歩こう

ウルトラ人：宮田太郎さん＠国士舘大学会議室＋鎌倉古道

万葉集にも詠まれた「多摩の横山」。歌や歴史に残された言葉を手がかりに、古くから人々が歩いた道をたどってみよう。同じ場所に立ちながら、千年前の景色を想像すると、いつもの道も違って見えてくるかもしれない。



12:00-13:15　旅人たちのごはんとは！？

ウルトラ人：佐々木寛子さん（カラーカ）＠加藤家

むかしの旅人が、道の途中で食べていたものは何？体を温め、足を進めるためのごはん。自分だけの「旅のおにぎり」を結ぼう。
これから歩くみちの途中で食べる、自分のための一握り。命の補給は、自分の手で。



13:15-16:00　植物が教えてくれる道の歩き方

ウルトラ人：仙仁径さん（パルテノン多摩学芸員）＠よこやまの道

千年前の景色を言葉で見たあとは、実際にその道へ。道沿いの草花一つひとつに名前と物語がある。「植物のメガネ」をかけると、毎日歩いていた道が、知らない場所に変わっていく。らんまん監修の専門家と一緒に、見えていなかった世界に出会おう。



©2026.SPACEinc.

2日目　日野市

日程：2026年7月19日（日）　場所：浅川、潤徳小学校、多摩動物公園　時間：　10:00-16:00

10:00-12:00　見えない水の道をつかめるか！？

ウルトラ人：多摩川漁業協同組合@浅川（ふれあい橋付近）

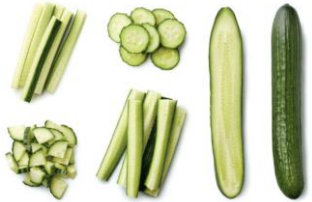
川は流れる「みち」。水の中には、目には見えないけれど確かにある道がある。浅川にはどんな魚がいて、どんなふうにせいそくしているのか？魚たちはどこに集まり、どんな流れに乗って動いているんだろう？



12:00-12:50　野菜の中のミクロな道

ウルトラ人：中野香織さん@潤徳小学校

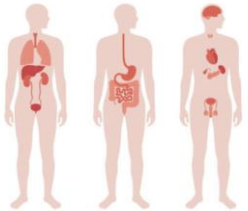
野菜を切ると、小さな点や筋が見える。それが「道管」と「師管」。植物が水と養分を運ぶみち。色水を吸わせて道を浮かびあがらせ、断面を観察しよう。手のひらの中の野菜にも、生きるための道がある。



12:50-13:40　体を巡る長い道のり

ウルトラ人：山本愛さん@潤徳小学校

魚や野菜、食べたものは、自分の中をどう流れていく？
口、のど、お腹、血、骨、あなたの中にも、見えない道がある。内側の流れに耳をすませてみよう。



14:20-16:00　道と道をつなぐ存在を発見！

ウルトラ人：土井優子さん（多摩動物公園解説スタッフ）@多摩動物公園

動物たちは、匂いや音、気配をたよりにそれぞれの道を生き、種を運び、花をつなぎながら世界を結んでいる。生きものたちを観察しながら、見えない不思議やつながりを探ってみよう。もしかしたら、まだ名前のついていない何かの存在に出会えるかもしれない。



©2026.SPACEinc.

3日目　多摩市

日程：2026年7月26日（日）　場所：グリーンライブセンター、旧富澤家　時間：13:00-16:00

13:00-14:50　わたしの道を導く妖怪

ウルトラ人：吉原 佳世さん、鈴木ケイナさん（コネルテ）
@グリーンライブセンター

- 道を見出そうとする時、自分の中から立ち上がってくる存在がいる。それは恐れであり、願いであり、まだ言葉にならない直感。
- あなたの「未知の道」を一緒に歩いてくれる心の声を、お面にしてお伴の妖怪を作ってみよう。
- 2日間で出会ったものから生まれたお面は、どんな表情をしてるだろう。



14:50-16:00　妖怪と踊る、未知の道へ

ウルトラ人：東京たま桜@富澤家

- お面をかぶれば、本当の自分の願いのままに振る舞えるかも！？
- リズムに乗って、心の声に耳を澄ませ、心地の良い妖怪の動きを探してみよう。
- みんなで踊れば、それぞれの妖怪が出会い、弾け、響き合う。
- もしかしたら、「未知の道」は、一人で歩くものじゃないのかも・・・



3日間の旅のおわりに

見えるみち。
見えないみち。
まちをつなぐみち。
自分の中のみち。

そのすべてに出会ったあと、
あなたの中から自分の道が立ちあがる。

未知の道は、これからもあなたの足の下に、
ずっと続いていく。

©2026.SPACEinc.